

保護者の皆様

令和6年10月11日

川崎市立平小学校
校長 松沢 隆

令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

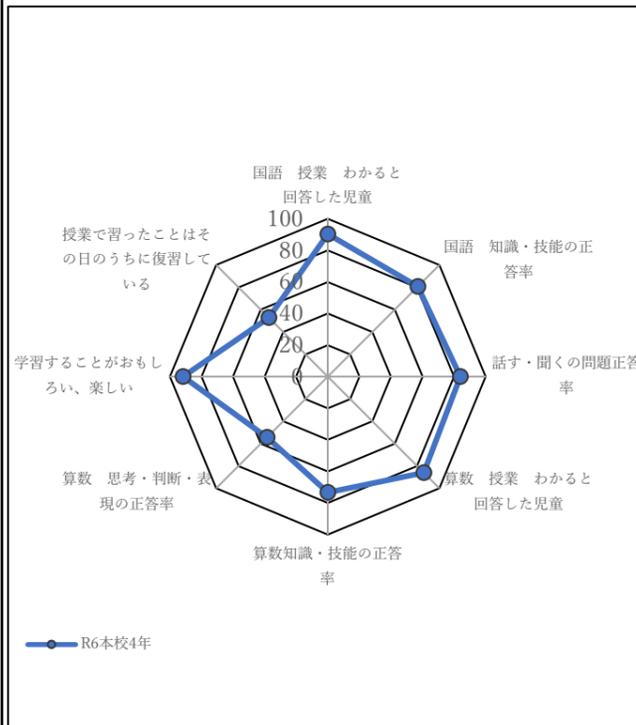
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月16日(火)に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日(木)に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標(育成を目指す資質・能力、目指す児童像等)の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標(育成を目指す資質・能力、目指す児童像等)

心豊かでたくましく実践力のある子供の育成

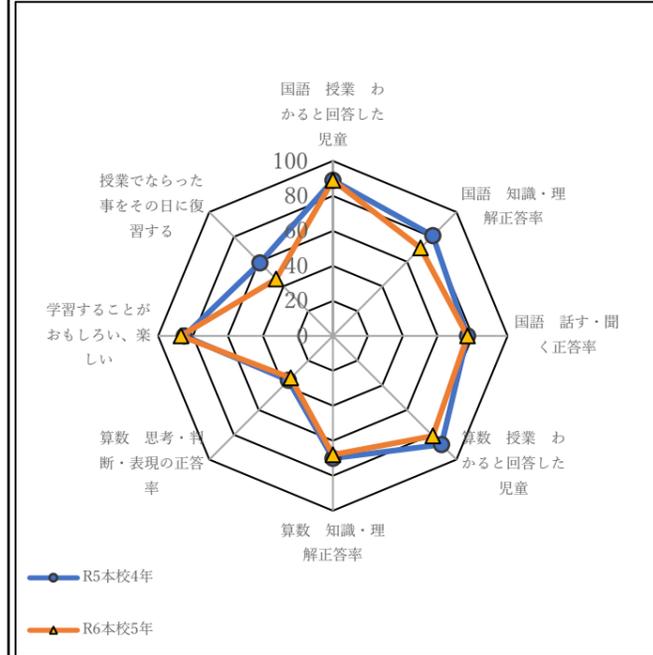
- ・元気な子(健康な心と体 礼儀 明朗)
- ・考える子(学ぶ意欲 主体性と自主性)
- ・やさしい子(自他の尊重 助け合い 生命尊重)
- ・がんばる子(最後までやる抜く 自ら奉仕)

令和6年度 川崎市学習状況調査 4年生



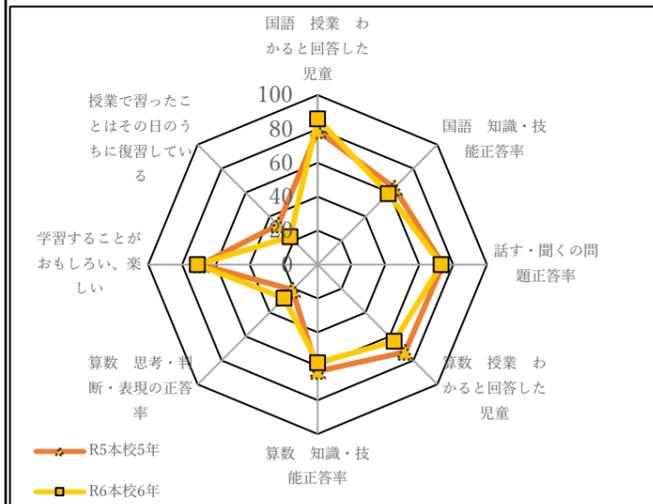
- ・「算数の知識・技能の正答率」は73%で、昨年度の4年生の70%より3%アップしました。また、「算数 思考・判断・表現」の正答率は昨年度の4年生の36%から54%と大きくアップしました。授業の中で、自分で考え友達と相談しながら課題を解決するような場面や応用問題に挑戦するような時間を設定するなど授業改善に努めてきた成果だと考えます。来年度も、正答率をアップできるようにしていきます。
- ・「学習することがおもしろい、楽しい」と回答した児童は91%でした。校内研究を国語にしばり「話す・聞く」を中心に「友達との関わりを通して、考えを深める子」をテーマに子供たちが主体的に学習できるよう研究してきました。また、教員が日頃の授業の準備に時間をかけ、努力した結果があらわれていると思います。
- ・「国語 授業 わかる」と回答した児童は90%でした。上記の校内研究をはじめ、普段の授業の中で平小の学校のランドデザインにあるように「学び合い、言語活動の充実」を意識して授業を行った成果だと考えています。

令和6年度 川崎市学習状況調査 5年生

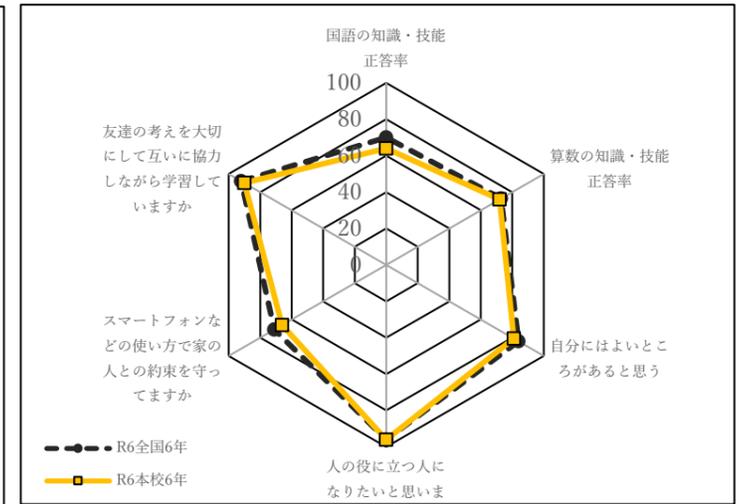


- ・「国語の授業がわかる」と89%の児童が回答しています。また、「学習することがおもしろい、楽しい」と回答した児童も87%と昨年度の4年生時よりアップしました。これは、教員が子供たちの実態に合わせて学習計画を立てたり、教材を工夫したりして、わかりやすい授業をしている成果だと考えます。次年度も活動を継続していきます。
- ・「授業で習ったことはその日のうちに復習している」と回答した児童は46%しかいませんでした。これは、子供たちが昨年度4年生だった時より下がっています。学校として宿題などの家庭学習の充実を図るとともに、家庭とも連携しながら、家庭学習や読書習慣の定着を図ることができるようしていきたいです。
- ・「算数 思考・判断・表現の正答率」は34%でした。昨年度4年生の時は36%だったので、2%ほど下がりました。昨年度から「算数 思考・判断・表現の正答率」については課題だと考えています。来年度は正答率を上げるように努力します。

令和6年度 川崎市学習状況調査 6年生



全国学力・学習状況調査 6年生



- ・市学習状況調査「国語の知識・技能の正答率」は59%、全国学力・学習状況調査では64%で、どちらも昨年度の5年生時の結果やR6年度年度の全国平均を少し下まる結果でした。昨年度同様、読書量が少ない児童が多く、1ヶ月で1冊も本を読まないと回答した児童が全体の44%でした。平小ランドデザインにあるように、昨年度から読書活動を充実できるよう取り組んでいます。また、言葉の意味や表現の仕方に着目して文章を丁寧に読み取り、話し合う活動を重視して、国語の授業の充実にも努め、国語の知識・技能の正答率をあげることができるようになります。
- ・市学習状況調査「算数の知識・技能の正答率」は58%、全国学力・学習状況調査では72%でした。全国学力調査では全国平均とほとんど同じ結果でしたが、川崎市学習状況調査の昨年度の5年生時の結果からは5%下がってしまいました。子供たちにわかりやすい授業を展開したり、クロムブックで反復学習を充実させたりすることで、来年度は算数の知識・理解の正答率80%以上を目指します。
- ・「国語 話す・聞くの問題正答率」は73%でした。校内研究のテーマを「話す・聞く」中心にして取り組んできています。学年の子供たちの実態に合わせた「話す・聞くステップアップカード」を作成したり、音読やスピーチ、日記など、子供たちが色々な言葉にふれる機会を意図的に増やし、語彙力が向上するように活動したりしてきた成果だと感じています。来年度も校内研究を充実させて正答率80%を目指します。